



## 東日本大震災7年特別企画

# つながるココロ、つながるふくしま

## あの日を忘れない...

参加無料  
どなたでも参加できます

託児のみ要申し込み  
(3/9まで)

東日本大震災・福島第一原子力発電所の事故から7年が経ちました。震災・原発事故を機に、福島から来られている方の多くが住宅を確保され、前向きに生活されています。しかし、その一方でPTSDなど深刻な心の問題を抱えている方もいらっしゃいます。表面化しにくい心の問題について、  
私たちができることを一緒に考えてみませんか？

### 日時

2018年 3月17日 土

10:00-12:00 (開場:9:30~)

13:00-16:00 (開場:12:30~)

### 場所

茨城大学水戸キャンパス

ライブラリーホール(図書館3階)

〒310-8512 茨城県水戸市文京2-1-1

## プログラム(予定)

10:00~12:00 (9:30開場)

上映

第26回FNSドキュメンタリー大賞ノミネート作品

### つなげる~我ら双高生 更に新たに道あらん~

福島第一原子力発電所が立地する双葉町にある伝統校・県立双葉高校が2018年春、94年の歴史に一旦幕を閉じました。生徒やOB、関係者たちの思いを追ったドキュメンタリー。(上映48分)

ディレクター:小野田明さん  
制作:福島テレビ

### 問い合わせ

茨城県内への避難者・支援者ネットワーク  
ふうあいねっと事務局

TEL:029-233-1370、070-1591-1370

Email:fuai.sta@gmail.com

13:00~15:00 (12:30開場)

### <第一部>講演

#### 「東日本大震災5年後の被災者・避難者こころのケアニーズ調査」報告

筑波大学 医学医療系臨床医学域  
精神医学 准教授



太刀川 弘和さん

#### 「よりそいホットラインを通して見える 福島県外避難者の現状と課題について」

一般社団法人 社会的包摂サポートセンター  
代表理事



熊坂 義裕さん

15:10~16:00

### <第二部>今後の支援を考えるディスカッション

主催: 茨城県内への避難者・支援者ネットワーク ふうあいねっと

共催: 茨城大学人文社会科学部市民共創教育研究センター

後援: 茨城県、水戸市、茨城県社会福祉協議会  
本事業はJSPS科研費・基盤研究(C)16K12367の助成を受けて実施します。

詳しい内容、託児申し込みについては、裏面をご覧ください。

# プロフィール



## 太刀川弘和さん

筑波大学 医学医療系 臨床医学域 精神医学  
准教授  
筑波大学保健管理センター所長

1993年 筑波大学医学専門学群卒業  
同年 筑波大学附属病院精神神経科入局  
2009年 筑波大学医学医療系臨床医学域精神医学  
(保健管理センター)講師  
2014年 同准教授  
2016年 現職  
専門: 青年期精神医学、精神科救急医療、自殺対策、  
災害精神医療  
趣味: 自主映画制作



## 熊坂義裕さん

一般社団法人  
社会的包摂サポートセンター代表理事

福島市出身。東北大学工学部中退、弘前大学医学部卒業。  
1997年から3期12年岩手県宮古市長。  
現在、盛岡大学客員教授(元栄養科学部教授・学部長)、  
京都大学医学部非常勤講師、弘前大学医学部学部長・講  
師、医療法人双熊会理事長、医学博士。国審議会委員を  
多数歴任。  
2011年からは、無料電話相談「よりそいホットライン」を運営  
する一般社団法人社会的包摂サポートセンターを立ち上げ、  
代表理事に就任している。

## つなげる～我ら双高生 更に新たに道あらん～

### < 作品内容 >

福島第一原子力発電所が立地する双葉町にある伝統校・  
県立双葉高校がこの春休校し、94年の歴史に一旦幕を閉じま  
した。福島第一原発から最も近い高校で、その距離はおよそ  
3キロ。しかし、そこで見たのは悲しみばかりではありませんで  
した。同窓生が、休校前最後の生徒が、学校を愛する人たち  
それぞれが、大切なものをつないでいこうと、新たな一歩を踏  
み出す姿がそこにはありました。母校の休校を前に、それぞれ  
が踏み出す未来への第一歩を追った番組です。

### < 番組ディレクタープロフィール >

小野田 明さん  
(福島テレビ記者・双葉町出身・  
茨城大学大学院人文社会科学研究科修了)



**図書館**  
**ライブラリーホール3階** **正門**  
JR水戸駅(北口)バスターミナル7番乗り場から茨城交通バス「茨大行  
(栄町経由)」に乗車、「茨大前」または「茨大正門前」で下車。  
(バス乗車時間は約25分)

## 託児申し込み

FAX:029-233-1370  
mail: fuai.sta@gmail.com

FAXまたはmailでお申し込みく  
ださい  
**3/9(金)締切**

保護者氏名	ふりがな		
住所			
電話番号			
お子さまの名前	ふりがな	年齢	歳
お子さまの名前	ふりがな	年齢	歳
備考			

\* 個人情報は、本イベントの連絡のみに使用いたします。